

スーパー工務店に聞く

# 築25年の家のシロアリ被害はほぼ100% 蟻害を最小限に防ぐ点検と対処法

田中工務店(本誌90頁) 代表取締役の田中健司さんによると、ここ数年、現場調査でシロアリの被害を高い確率で見つけるようになったそうだ。そこで同社が行っている調査内容と、その対処方法をうかがった。

談:田中健司(田中工務店)



まず、新築時のシロアリ対策には、12年前からホウ酸処理を採用しています。施工しやすい、水に濡れなければ半永久的に効果が持続する優れた対処法です。引渡し後5・10年目には専門業者に依頼し、床下に潜る本格的なシロアリ点検をします。日本ボレイトのホウ酸処理を採用していますが、施工時はもちろん、定期点検も丁寧で信頼できます。5・10年目の定期点検は有償(5万円)ですが、ほぼすべてのOBが受けており、万が一被害にあったときに無償補修をしてくれる15年保証を取得できています(※)。シ

## 5年目以降の定期点検は床下に潜る

シロアリ点検では、「OBへのヒアリング」→「外周検査」→「室内検査」→「床下検査」→「デジカメをテレビにつなげ、その場で報告」を、約2時間かけて行います。後日送られてくる報告書も写真付きで分かりやすいです(写真1)。これらのデータは日本ボレイトがすべてクラウド上に保管しており、紛失の心配もありません。

## 築25年の家はシロアリ発生率ほぼ100%

地域で長く工務店業をやっていると、自社物件以外のリフォームの依頼もよく受けます。その場合、現場調査の際に外装の点検とともに、床下の点検も提



- 1/後日郵送で届く報告書の一部。図面や写真を用いて、約20頁にわたってまとめられている(実際の報告書は、高解像度の画像を掲載しています。)
- 2/床下にホウ酸処理を行い、必要に応じて「ボレイトスティック」を施す
- 3/「ボレイトスティック」は、ホウ酸木材保存剤・DOT(八ホウ酸二ナトリウム四水和物)を特殊技術でチョーク状に固めた木材保存剤
- 4/木材が濡れると、「ボレイトスティック」から溶け出したDOTが木材に含まれる水分とともにゆっくりに広がり、腐れやシロアリの被害から守る

## 水に溶けるホウ酸の性質を逆に利用する

湿度が高い床下などの場所には、ホウ酸の散布(写真2)とともに必要に応じて活用しているのが「ボレイトスティック」(写真3)。ホウ酸を特殊な技術で長さ70mm、直径9mmのチョーク状

案しています。というのも、5年くらい前から高い確率でシロアリ被害が見つかるからです。特に築25年を過ぎた家の在来工法の浴室の下にほぼ100%、シロアリ被害が発生しています。この場合、新しいユニットバスを施工する前に、柱や大引を取り替えてホウ酸処理を行います。

に固めたものです。木部にドリルで孔を開けて「ボレイトスティック」を差し込み、シーリングで孔をふさぎます(写真4)。木材の水分でホウ酸が溶け出し、内側からホウ酸が木材に浸透するという仕組みです。

日本ボレイトは、ホウ酸処理だけでなく、ホウ酸が含まれたシーリングや、パテなどもあり、臨機応変に使っています。これらの点検や対策は、シロアリの有無で判断をするのではなく、深刻な被害の予防として全棟で行うべき対処です。見えにくい部分の施工にこれからも力を入れていきます。

※5・10年目に日本ボレイトの有償点検を行うと、15年保証を取得できる

日本ボレイト株式会社

TEL. 03-6659-5785  
MAIL. nihon@borate.jp

ボレイトスティックの  
施工動画はこちら

